

スズキ、海辺の環境保護活動「スズキクリーンオーシャンプロジェクト」が米国 Trade Only 誌の「EPIC Award」を受賞



スズキの米国子会社「スズキマリン USA」が、米国の主要マリン業界専門誌 Soundings Trade Only（以下、「Trade Only 誌」）の「EPIC Award」をサステナビリティ部門で受賞*しました。

Trade Only 誌は、2018年より革新的な技術や製品をつくる企業を表彰する「Most Innovative Marine Company Awards」を主催してきました。本年からは同賞を「EPIC Award」へ名称変更し、マリン業界で最もイノベーションを起こした企業に対して、全7部門の表彰を行いました。スズキが受賞したサステナビリティ部門は、ユニークな技術をもって、環境負荷低減に貢献した企業に授与されます。スズキが長年取り組む水辺の環境保護活動「スズキクリーンオーシャンプロジェクト」およびサステナブル燃料の普及活動が評価され、今回の受賞となりました。スズキが同誌の賞を受賞するのは5年連続の5度目となります。

*Trade Only 誌受賞発表：

<https://tradeonlytoday.com/industry-news/ibex-2025-winners-of-inaugural-epic-awards-announced/>

マリン事業本部長 三嶋秀一常務役員のコメント

スズキは、1965年に初の船外機「D55」を発売して以来、60年間にわたりマリン事業を展開してまいりました。豊かで美しい海洋環境に支えられてきたことに深く感謝し、「スズキクリーンオーシャンプロジェクト」を推進しております。今後も、耐久性と信頼性に優れた製品をお届けすることと、豊かな海を守る活動を通じて、お客様の水上の「楽しさ」と「働く」を支える頼れるパートナーであり続けることを目指し、取り組んでまいります。

○「スズキクリーンオーシャンプロジェクト」について

スズキは、水辺の清掃活動「クリーンアップ・ザ・ワールドキャンペーン」、プラスチック梱包資材の削減、海洋マイクロプラスチックの回収の3つの活動を柱とした「スズキクリーンオーシャンプロジェクト」を推進しています。2010年に開始した「クリーンアップ・ザ・ワールドキャンペーン」には、これまでに世界各国で累計 27,500 名を超える方々にご参加いただいています。また、2020 年より開始したプラスチック梱包資材の削減では、船外機本体および部品梱包の合計で 145 トン超を生分解性素材へ切り替えました。さらに、2022 年からは 100 馬力、115 馬力、140 馬力の船外機にマイクロプラスチック回収装置を標準搭載しています。

以上